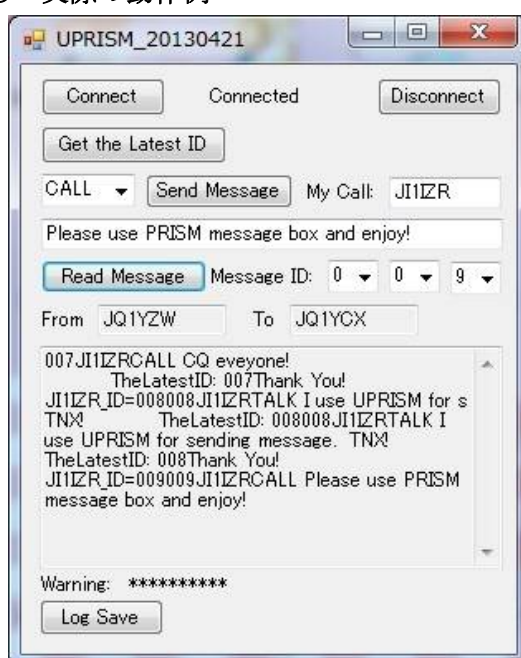


UPRISM の使い方

- UPRISM 起動前に準備することと留意事項
- 1 .NET Framework 4 があらかじめインストールされていることが必要です。
- 2 特別なインストールは不要です。適当なフォルダーに保存するだけです。
- 3 起動するには保存したプログラムファイルをダブルクリックします。ショートカットをデスクトップに作成しておくともよいと思います。
- 4 あらかじめ AGWPE をインストールした後、パソコンとトランシーバとの接続、レベル調整を含めた設定を済ませてから、起動しておいてください。レベル調整には 144MHz 帯での APRS 信号などを利用するとよいと思います。
- 5 ログは「Log Save」ボタンをクリックしたときに、起動後からボタンをクリックするまでの間にメッセージ表示部に表示された文字等をテキストファイルで保存します。
- 6 メッセージを含む PRISM からの返信は、PRISM からの信号が受信ができ、かつ、AGWPE でデコードできた場合に表示されます。メールボックスのメッセージが 4 回に分かれて送信されるため、メッセージの一部がデコードできなかった場合には、完全なメッセージとはなりません。
- 7 メッセージ表示部は隙間なく受信メッセージが表示されるため、たとえば、メッセージ送信して PRISM からメッセージ ID を受け取った直後にメッセージを読み出すと、「Thank You! JI1IZR_ID=009009JI1IZRCALL Please・・・」というように、区切りがわかりづらい表示となります。
- 8 メッセージが右端まで続くと、その直前のスペース部分で改行表示されます。

○ 実際の動作例



I 起動後の最初の設定等

(起動後一度だけ設定等する。設定後 PRISM から送信されるメッセージが表示される。)

The screenshot shows the UPRISM_20130421 software interface. At the top, there are buttons for 'Connect', 'Disconnected', and 'Disconnect'. Below these are 'Get the Latest ID', 'TALK' (dropdown), 'Send Message', and 'My Call: URCALL'. There is a 'CQ' field and a 'Read Message' button with 'Message ID' fields. A 'From' and 'To' field is visible. At the bottom, there is a 'Warning: *****' message and a 'Log Save' button.

②クリックすると中央の「Disconnected」が「Connected」に変わり、AGWPE と接続して、コマンド送信が可能となる。

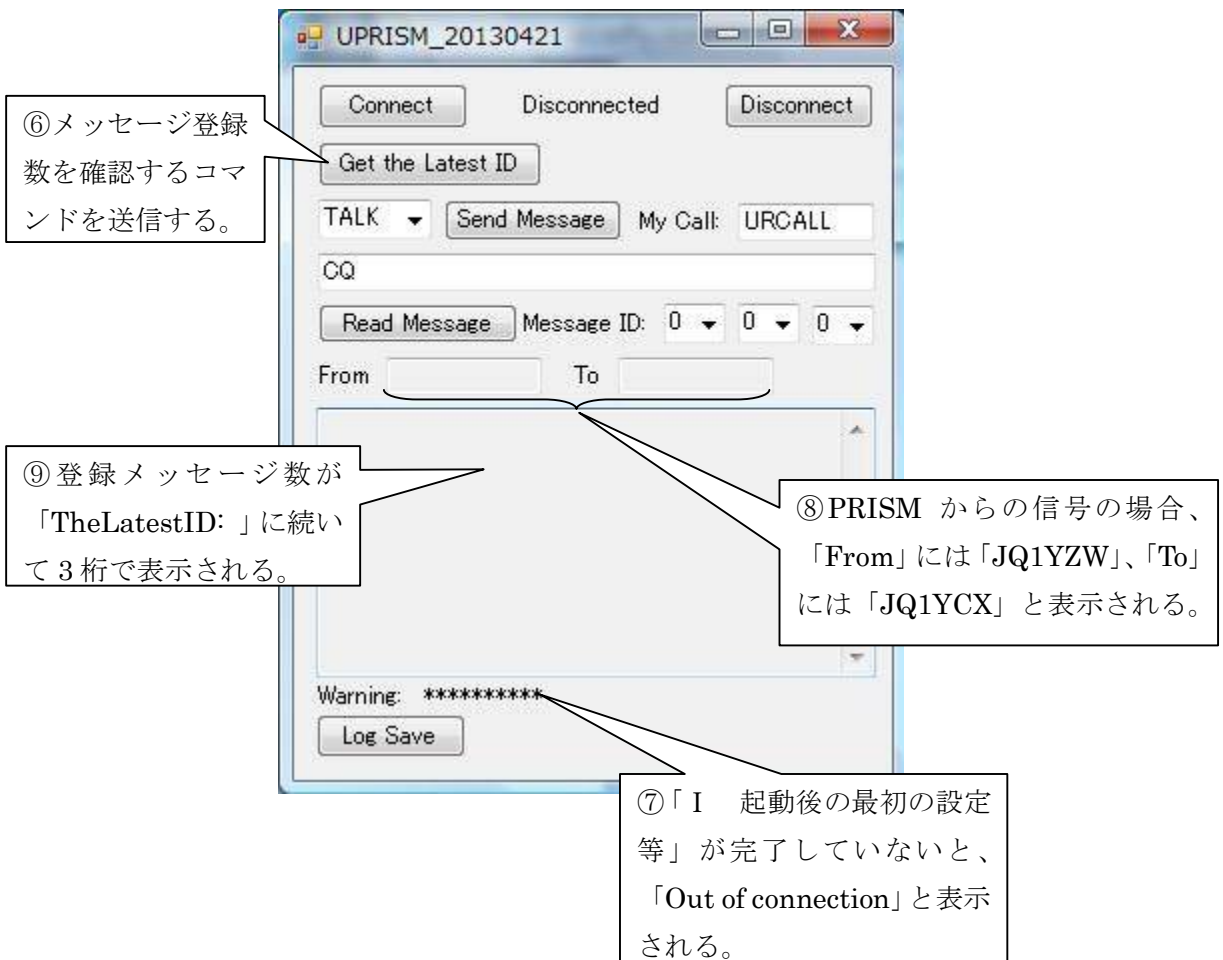
①自分のコールサインを設定する。設定しないと送信者が「URCALL」となってしまう。

④PRISM からの信号の場合、「From」には「JQ1YZW」、「To」には「JQ1YCX」と表示される。

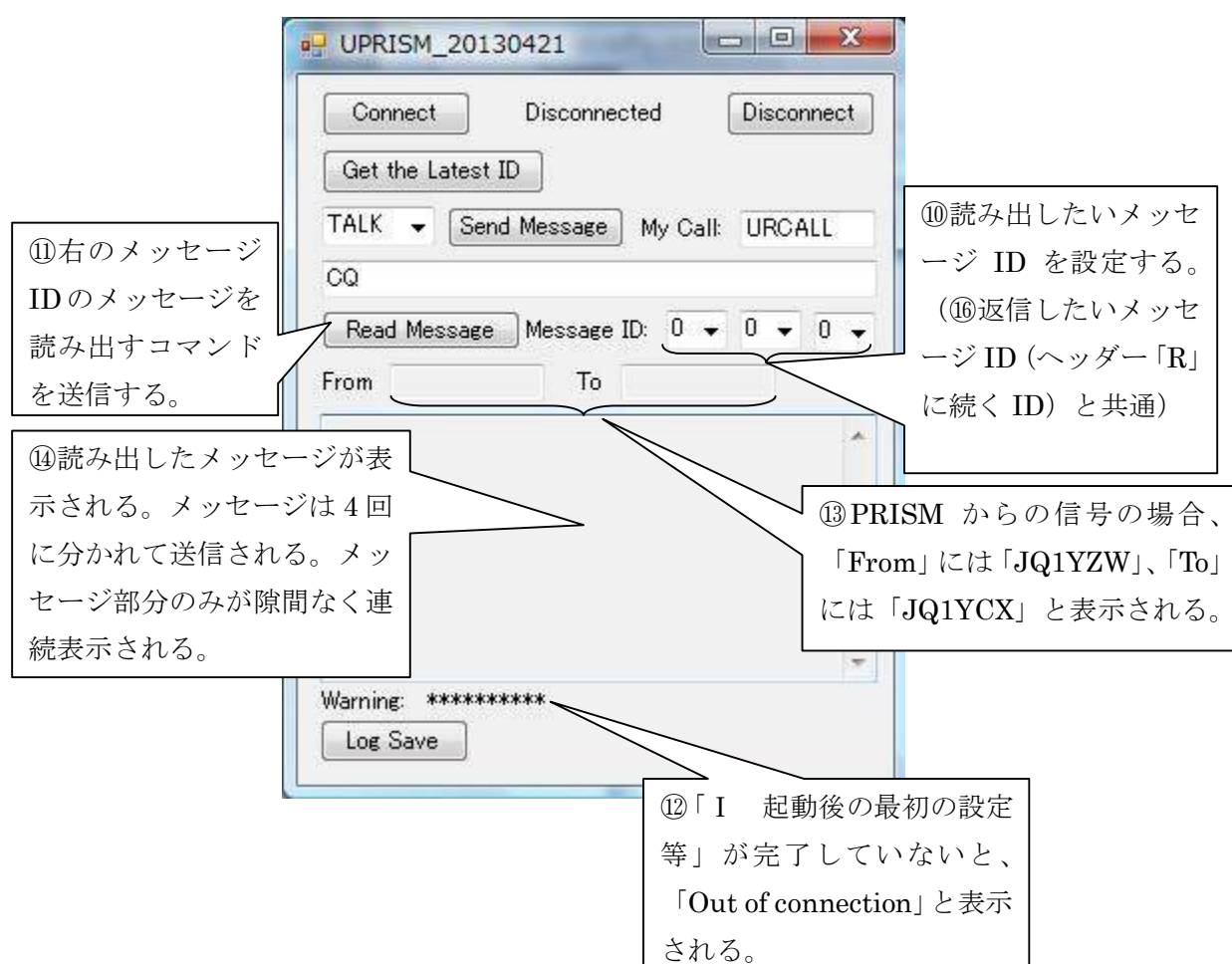
⑤他局が PRISM に対して送信したコマンドの返信等が表示される。

③AGWPE が起動していない、AGWPE のポート番号が 8000 番に設定されていないときは、「Please start AGWPE!」と表示される。

II PRISM のメッセージ登録数を確認する。



III PRISM からメッセージを読み出す。



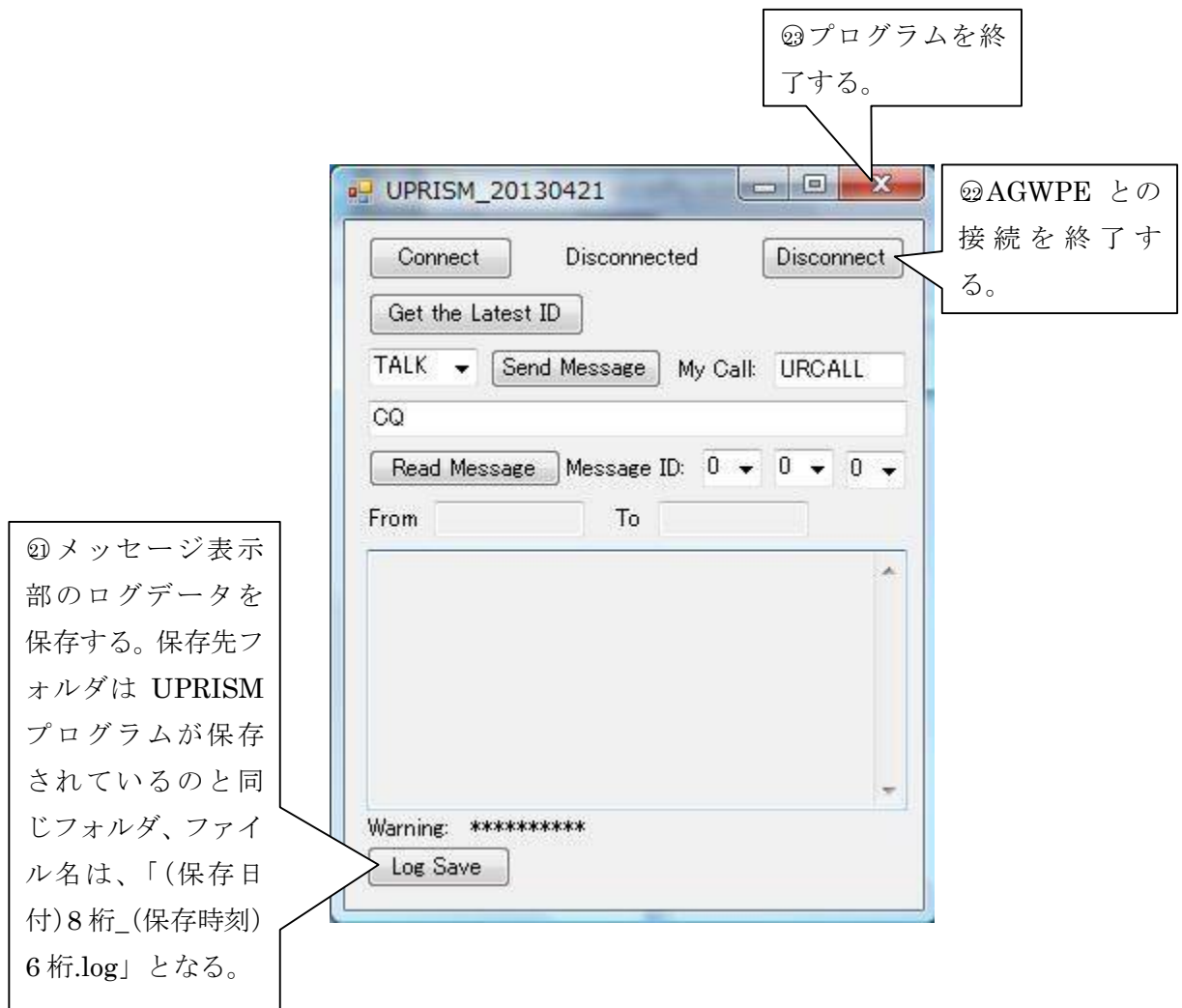
IV PRISM にメッセージを書き込む。

The screenshot shows the PRISM interface with the following callout boxes:

- ⑮ 「TALK」 (一般的なメッセージ)、「CALL」 (全体への呼びかけ)、「R」 (特定のメッセージへの返信) のうち 1 つを選択する。** (Select one of 'TALK', 'CALL', or 'R' for the message type.)
- ⑯⑮～⑰で設定したメッセージを書き込むコマンドを送信する。** (Send the command for the message set in ⑮-⑰.)
- ⑰書き込みするメッセージを入力する。この欄には半角で 39 文字まで入力できる。** (Enter the message to be sent. This field can accept up to 39 characters in half-width.)
- ⑱⑮で「R」を選択した場合、返信の相手方のメッセージ ID を設定する。(⑳読み出したいメッセージ ID と共通。)** (If 'R' is selected in ⑮, set the recipient's message ID for the reply. (This is common with the message ID you want to read in ⑳).)
- ㉑メッセージが書込まれた場合、「Thank You!XXXXXX_ID=***」(XXXXXX はコールサイン、***はメッセージ ID) というメッセージが PRISM から返信される。** (When a message is sent, a message like 'Thank You!XXXXXX_ID=***' (XXXXXX is the call sign, *** is the message ID) is sent back from PRISM.)
- ㉒「I 起動後の最初の設定等」が完了していないと、「Out of connection」と表示される。** (If the initial settings after 'I' startup are not complete, 'Out of connection' is displayed.)

The interface includes fields for 'TALK', 'Send Message', 'My Call: URCALL', 'Message ID: 0 0 0', and a 'Warning: *****' message.

V ログの保存、AGWPE との接続終了、プログラム終了



○ 保存したログの例

```
007JI1IZRCALL CQ eveyone! TheLatestID:
007Thank You!JI1IZR_ID=008008JI1IZRTALK I use UPRISM for s TNX!
TheLatestID: 008008JI1IZRTALK I use UPRISM for sending message. TNX!
TheLatestID: 008Thank You!JI1IZR_ID=009009JI1IZRCALL Please use PRISM message
box and enjoy!
```